授業科目	* ツーリズム演習 (Bクラス)				単位	1				
履修	必修	関連資格				ナンバリング	TO12101J			
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-3 DP1-4 DP2-2 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-2					
担当教員	池口 功晃									
授業概要	九州は地理的に中国に近いにもかかわらず、中国人観光客(特に上海からの観光客)が他の地域に比べて少ない傾向にある。この要因の一つとして両地域間の観光マーケティングが十分に機能していないことが挙げられる。そこで、本授業では九州と上海を事例とし、観光マーケティングの視点からこの要因を解明することを目的とする。具体的には、九州の観光資源を概観した上で、観光マーケティング、インバウンド観光理論を通じて分析・考察をおこなう。また本学科が実施しているインバウンド観光研修や外国人観光客との異文化交流の具体的な事例を授業の中に折込み、インバウンド対応型の観光人材の育成についても触れる。なお、授業はすべて遠隔授業でおこなう。									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観光マーケティングの概念を理解することができる。 2. インバウンド観光の意義を理解することができる。 3. インバウンド観光の現状と展望を把握することができる。 4. インバウンド観光研修参加の意義を理解することができる。 5. 求められているインバウンド対応型の観光人材について、理解できる。 									
達成度評価										
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	0	0	55	0	45	0	100			
知識・理解 (DP1-1)			5		5		10			
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)			5		5		10			
知識・理解 (DP1-4)			5		5		10			
思考・判断 (DP2-1)										
思考・判断 (DP2-2)			5		5		10			
関心・意欲 (DP3-1)			20		10		30			
関心・意欲 (DP3-2)										
態度(DP4-1)			5		5		10			
態度(DP4-2)			5		5		10			
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)			5		5		10			
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
5つの到達目標の達成のみならず、授業で習得した知識を研究や観光フィールドワーク及び観光産業界への就活に反映させることができる。					5つの到達目標を達成できる。					
授業計画										
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意を説明する。	講義	該当部分の復習	30
2	観光立国 ビジット・ジャパン・キャンペーン(1)	講義	該当部分の復習	60
3	観光立国 ビジット・ジャパン・キャンペーン(2)	講義	該当部分の復習	60
4	観光立国 九州におけるインバウンド観光(1)	講義	該当部分の復習	60
5	観光立国 九州におけるインバウンド観光(2)	講義	該当部分の復習	60
6	観光マーケティング(1) 観光マーケティングの概念	講義	該当部分の復習	60
7	観光マーケティング(2) 製造業マーケティングとの違い	講義	該当部分の復習	60
8	マーケティング・ミックス 4Pと4C(1)	講義	該当部分の復習	90
9	マーケティング・ミックス 4Pと4C(2)	講義	該当部分の復習	90
10	マーケティング・ミックス 4Pと4C(3)	講義	該当部分の復習	90
11	九州と上海の観光交流(1) -クルーズ観光を事例として	講義	該当部分の復習	60
12	九州と上海の観光交流(2) -インセンティブ旅行を事例として	講義	該当部分の復習	60
13	観光の人材育成(1) インバウンド観光人材育成とは	講義	該当部分の復習	60
14	観光の人材育成(2) インバウンド観光人材育成の方法	講義	該当部分の復習	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「観光学入門」を履修したこと。「ツーリズム演習」を学ぶ意義を理解しておくこと。			
テキスト	『地域観光マーケティング戦略構築のあり方 -九州のインバウンド観光を事例として』 劉明著 くんぷる出版			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に指示する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 海外へ留学・旅に行くこと。 2. 少しでも長く勉強を続けること。 3. インバウンド観光研修に参加すること。 			
達成度評価に関するコメント	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観光マーケティングの概念を理解すること。 2. インバウンド観光研修参加の意義を理解すること。 3. インバウンド対応型の観光人材について、理解できること。 4. 「その他」とは、授業態度で評価するということである。 			